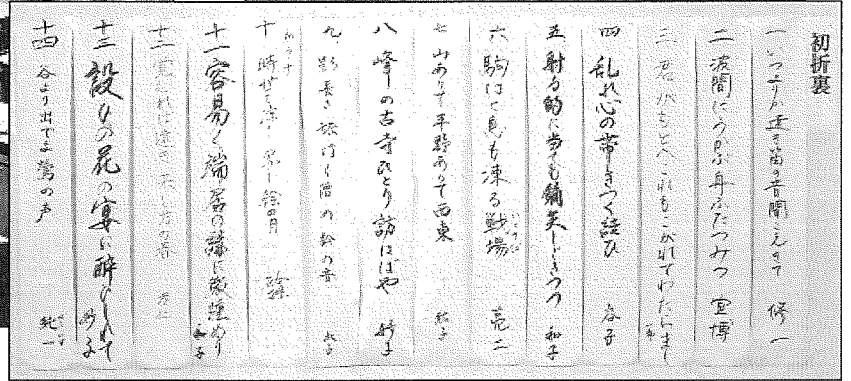
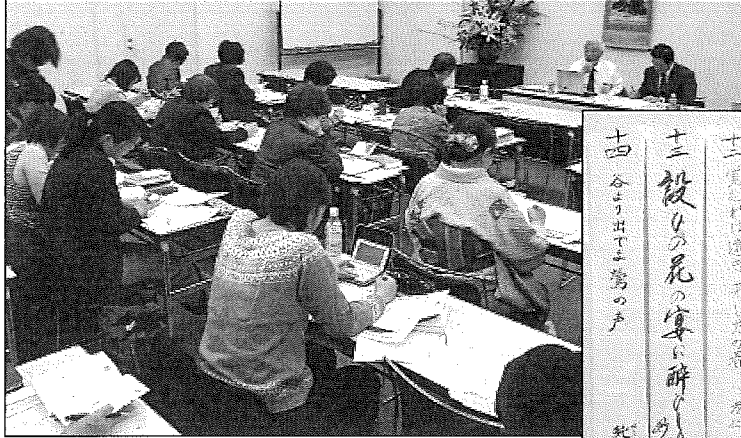


八代が生んだ連歌師・西山宗因



今年も開催！どなたでも見学・参加OKの連歌会！

言葉の伝統文化を楽しく体験してみませんか？

第7回 やつしろ連歌会

平成30年12月1日(土) 13:00~16:30

会場 八代市立博物館未来の森ミュージアム講義室 ※見学無料・事前申し込み不要

今年も連歌の第一人者たちが八代に集結！

会場が一体となって句を一つずつ詠みつなぎ、全44句の連歌を完成させます。もちろんわかりやすい解説付き。

連歌の世界を体感できる、またとないチャンスです！どなたでもご見学・ご参加いただけます！お気軽にお越しください！

宗匠：鶴崎裕雄氏 (帝塚山学院大学名誉教授)

執筆：竹島一希氏 (熊本大学文学部准教授)

主催 八代市立博物館未来の森ミュージアム 八代市立博物館友の会 くまもと文学・歴史館 協力 八代歌人懇話会 八代連歌の会

お問い合わせ 〒866-0863 八代市西松江城町12-35 八代市立博物館未来の森ミュージアム TEL0965-34-5555 (担当 鳥津)

れんが
連歌とは、複数の人々によって「五七五」の句と「七七」の句を交互につなげていく文芸で、江戸時代まで公家・大名から一般の庶民に至るまで広く親まれた日本の伝統文化です。特に江戸時代はじめの八代では八代城主・加藤正方が連歌を愛し、その家臣・西山宗因が後にこの世界で一世を風靡し、大活躍しました。